

移動作業車を用いて片持ち状態で張出す長スパンの橋梁に適したP C 橋の架設工法

調査・設計・計画

橋梁架設

材料

ICT施工

コンクリート施工

プレキャスト

高耐久化・床版更新

お客様のメリット

- 適用性が高い工法なので、設計条件に対し最も合理的な構造やスパンを計画できます。
- 桁下の制約条件に影響を受けずに施工できます。
- 長スパン化することができ、橋脚数を減らすことができます。

技術の特徴

橋軸方向に2 ～ 5mの長さに分割した主桁ブロックを、移動作業車（トラベラー）を用いて製作し、橋脚等から順次片持ち状態で張出していく工法です。

地上からの支保工を必要としない架設工法なので、架設地点の地形条件（河川、海、渓谷等）や制約条件（道路、鉄道、船舶航行等）に影響を受けず、橋体の構築を安全かつ経済的に施工することができます。

支間70 ～ 300m程度のスパンに適用性があります。桁橋・斜張橋・エクストラード橋・アーチ橋ほか様々な構造形式や広幅員断面、厳しい線形等の特殊構造条件の橋梁へ適用できます。



実績・事例

（ラーメン橋 連続桁橋）

- ・北海道横断自動車道 鵠川橋 2009年12月完成
- ・新東名高速道路 青木川橋 2013年5月完成
- ・天城北道路 狩野川高架橋 2016年3月完成
- ・新名神高速道路 坊川第三橋 2017年9月完成
- ・東海環状道路 武儀川橋 2018年10月完成
- ・広島高速5号線 矢賀こ線橋 2020年3月完成
- ・熊本325号災害復旧 新阿蘇大橋 2021年3月完成
- ・新宮紀宝道路熊野川河口大橋 2022年11月完成
- ・河津下田道路 河津小鍋橋 2022年12月完成

（アーチ橋）

- ・天翔大橋 2000年7月完成
- ・新東名高速道路 富士川橋 2005年3月完成
- ・庵谷橋 2008年3月完成

（エクストラード橋）

- ・北陸新幹線、神通川橋りょう 2012年10月完成
- ・新名神高速道路 生野大橋 2019年2月完成



青木川橋



神通川橋りょう



鵠川橋



富士川橋